

埼玉の中堅・中小、インドへ

ポータル

車部品工場を拡張

埼玉県内の中堅・中小企業がインド市場への展開を強化している。世界の大手自動車や家電メーカーなどがインドに相次ぎ製造拠点を設け、そこで使われる部品や製造機械の需要がにわかさまに高まっているのが背景だ。中国を抜いて14億人超の人口を抱える巨大市場に挑む3社取材した。

「米中問題などの『チャイナ・リスク』で、製造拠点を中国の外に移す流れが世界で進んでいる」と、粉末冶金メーカーのポータル（さいたま市北区）の菊池正史社長は説明する。国際協力銀行（JBIC）がまと

大森機械工業がインドで投入した医薬品向けの包装機械

めた2023年度の製造業の海外事業展開の調査によると、今後3年ほどの有望な海外の進出先としてインドが2年連続で首位になった。この活況な需要を取り込むと、ポータルは8億円を投じて車



「インド経済が急速に発展し、高価格な日本や欧米製の機械を導入する機運が非常に高まっている」と説明するのは、超微粒粉砕機メーカーの増幸産業（埼玉県川口市）の増田幸也社長だ。実際、23年ごろからインドからの受注が相次ぎ決まったという。そこで23年の1回に続き、24年

（さいたま・大城藤子）

増幸産業

粉砕機で攻勢、展示会に出展

インド大手財閥のリライアンス・インダストリーズが開発する工業団地「METシティ」の事業開発責任者、ヴァイバブ・ミツタル氏にインド参入のポイントを聞いた。



「METシティ」事業開発責任者
ヴァイバブ・ミツタル氏

「インド北部・ハリ

には3回、インドで展示会に出展する予定。主力で石臼の原理を用いた粉砕機「スーパーマスコロイダー」をアピールし、インド市場で攻勢をかける。

大森機械

医薬品包装需要見込む

「METシティ」事業開発責任者、ヴァイバブ・ミツタル氏にインド参入のポイントを聞いた。

狙い明確にして地域選択 土地購入 正当な価格で

「METシティ」は、インド大手財閥のリライアンス・インダストリーズが開発する工業団地「METシティ」の事業開発責任者、ヴァイバブ・ミツタル氏にインド参入のポイントを聞いた。

「METシティ」は、インド大手財閥のリライアンス・インダストリーズが開発する工業団地「METシティ」の事業開発責任者、ヴァイバブ・ミツタル氏にインド参入のポイントを聞いた。

「METシティ」は、インド大手財閥のリライアンス・インダストリーズが開発する工業団地「METシティ」の事業開発責任者、ヴァイバブ・ミツタル氏にインド参入のポイントを聞いた。